



## イベント発生直後の行動計画

お住まいの地域社会の必要に応じて、以下の行動手順に従って、柔軟に対応してください。状況は刻々と変化しております。冷静さ、思いやり、柔軟な対応は、この計画を無事成功させるために、重要不可欠な要素です。周りの皆さんのニーズに合わせて、役立つよう行動しましょう。

### イベント開始後すぐ(3時間以内)

- ・同じ地域のESG(イベントサポートグループ)メンバーと連絡を取り合っ、「地域社会のリーダーへの状況説明」(以下「状況説明文」)の配布を始めて下さい。
- ・周りの友人、ご家族、ご近所、同僚、知人に手伝う意思があるかを確認します。
- ・夜間であれば、警察署長と消防署長に状況説明文を渡し、状況を説明して下さい。非番の職員とともに、自治体首長や議会議員を呼び戻すように頼んで下さい。
- ・規模を問わず、あらゆるメディアと連絡を取ってください。主要メディア、代替メディア、地方メディア、国営メディア、グローバルメディアなどに対して、[「イベントのためのメディア対策」](#)の指示に従って行動してください。

### 一日目

- ・導かれていると感じた適任者は出来るだけ早く、[「イベントのためのメディア対策」](#)の中の太字で書かれた部分をメディアに伝えてください。
- ・状況説明文をまず、自治体首長、議会議員、警察署長と消防署長に届けて下さい。
- ・続いて次の担当責任者にも届けて下さい。
  1. 住民への周知担当責任者(通常は役所)
  2. 必要物資を継続的に安定供給するための人材
  3. 公共施設の安全確保担当責任者(集会に使うため)
- ・ESGメンバーの中から、博識でバランスの取れた人を起用して、グループでまとめた追加情報を行政区域の長(自治体首長・警察署長・消防署長)に口頭で伝えて下さい。
- ・もし自治体首長にすぐ連絡がつかない場合、彼らと連絡を取れそうな人に接触してみてください。議会議員または、警察や消防の署長・副署長など。
- ・地域の有力者と接触できる立場にいる関係者、友人もしくは友人の友人などにすぐ働きかけて下さい。
- ・状況説明文のコピーを公益事業、食料品店、病院、学校や地元企業の経営者に配ってください。
- ・地方自治体、商工会議所(彼らなら、状況説明文を電子メールで大量の取引相手に送れる)、メディア、そしてESGメンバーの協力のもとで、なるべく多くの地域住民に「イベント」のことを知らせてください。

- ・学校や自治体施設、コンサートホールや劇場、映画館、スポーツ複合施設、ホテルの会議場などにある既存のPAシステム(アナウンス設備)を評価し、情報共有や集合施設としての適合性を決めます。
- ・必要ならば、情報を共有するためのアナウンス設備を中心区域に設置してください。
- ・情報を受け取ったすべての住民に、友人、家族、同僚、ソーシャルメディア、利用可能なありとあらゆる方法で「メッセージを広めて!」と頼んで下さい。

## 一日目の夜間

- ・住民に知らせる最新情報のアナウンス文面をまとめ、それを伝えるための地方自治体/地域社会の担当者を決めて下さい。
- ・必要なボランティアグループについて、計画を作成します。
- ・将来必要な食料や水の補給と基礎補助金と最新情報を入手するため、軍関係者と交渉する担当者を選任して下さい。

## 二日目

- ・もし初日に実行出来なかった場合、指定された場所でイベントの情報と状況説明文、最新情報を住民に公表して下さい。また、可能であれば、「イベントのためのメディア対策」に従って、地元のテレビ局とラジオ局を通じて公表して下さい。
- ・相談会と持ち寄り式食事会の集合場所を発表してください。
- ・地方自治体と連携して、短期・中長期のニーズを判断して下さい。
- ・地元の緊急対策チーム及び環境・政治・社会活動団体などに連絡し、協力を求めて下さい。
- ・様々な委員がすぐに必要であることを訴え、ボランティアを募り、登録を始めて下さい。必要な指示、知識とサポートを志願者に与えて下さい。

## 作成すべきボランティア委員会の候補例として、次のものがあります。

1. 食料と水の現在の供給手段と代替調達手段や生産(例:地元の湧水)
2. ホームレスのための代替住宅と収容施設(例:教会・抵当物件・空き家・倉庫)
3. 集合場所と[持ち寄り食事会](#)
4. フードバンク(食料援助)、食事配達サービス
5. 必要最小限の補助金、補給ラインの保守と代替手段の新規獲得
6. 必需品確保のための不要品交換会
7. 重要なインフラ施設、病院、食料品店を維持・管理するスタッフ
8. 既存の地域ボランティア団体、慈善団体、活動家グループとの連携と動員
9. 緊急対策と紛争解消チーム

10. 地域の法執行と秩序維持を補助するための地域民兵組織
11. 心的外傷と生命危機の相談センター、精神と肉体のヒーリングセンター
12. 多目的、多機能の流動型学生組織
13. ソーシャルメディアによる近隣都市や町への指導と支援計画
14. お年寄りや身体障害者、ホームレスへの支援
15. ストレス解消、コミュニティによる芸術イベント(無料の音楽、演劇、ダンスパフォーマンス)、精神的鼓舞・激励
16. スピリチュアル的なアドバイスと指導
17. 現在と未来のための計画と必要プロジェクトを策定するシンクタンク

### 三日目とその後

- ・トラウマ治療センターの場所と連絡用電話番号と最新情報を発表してください。
- ・地元の事業所の営業継続を促すための工夫を考えて下さい。
- ・生活必需品の買いためとポツタクリを抑制しながら、必要なら報告してください。
- ・地元の事業所に小切手・金銀・代替支払い手段の受け入れを促してください。
- ・地域または都道府県の商工会議所が地元でのビジネス用に臨時紙幣を発行できないかを確認します。
- ・不要品交換会の情報を発表してください。
- ・地域で余分な緊急備蓄品を保有している方に、他の方への援助を勧めてください。
- ・持っているものを他人と分かち合うよう住民に促して下さい。

締めくくりに、イベントに対する準備とそれに伴う正しい行動の度合いが高ければ高いほど、地域住民に有用な情報と案内がより早く伝えられます。これがより高いレベルの秩序・理解・礼儀・協力につながり、結果的に仲間みんなに最高の心の平和と幸福をもたらすでしょう。

**Prepare for Change JAPAN Official Group**

**<http://pfc-jp.net/>**

**メール: [event@pfc-jp.net](mailto:event@pfc-jp.net)**

**フェイスブック: <https://www.facebook.com/groups/PrepareForChangeJapanOfficialGroup>**